

## (16) 事業者へのヒアリング (その3)

### ■ 地域貢献の形として、工場跡地の一部を緑豊かな広場として開放

／株式会社 ノリタケカンパニーリミテド

#### 取組のポイント

- 『ノリタケの森』は、創立 100 周年事業として (株) ノリタケが地域貢献の一環として取り組んだ大規模な緑地空間整備である。製造業は地域との関係が重要であり、この取組を通して「地域社会から必要とされる企業であり続ける」という意図があった。
- 一般的に“地域全体の景観形成”を図るためには、以下の取り組みが重要というご指摘を頂いた。
  - 行政が地域レベルで、『まちづくりの目標像』を明確にする
  - ことにより、事業者はその方向に向けて取組やすくなる

#### ① 地域貢献の形として、都心に森を整備し、一般開放

- 事業を継続していくためには、「地域との共存」という視点が重要。創立 100 周年を記念して「これからの 100 年地域社会に必要とされる企業でありつづける」という意識での取組
  - ・ ノリタケ発祥の地に、産業と文化の原風景「ノリタケの森」を創造
  - ・ 工場の一部を解体し、歴史的な産業資源（コンクリート煙突等）を保存して場所性を表現
  - ・ 緑が少ない名古屋都心部に自然を回復し、市民に開放することで「文化と出会い、森に憩う新しいかたちの都市再生」が実現

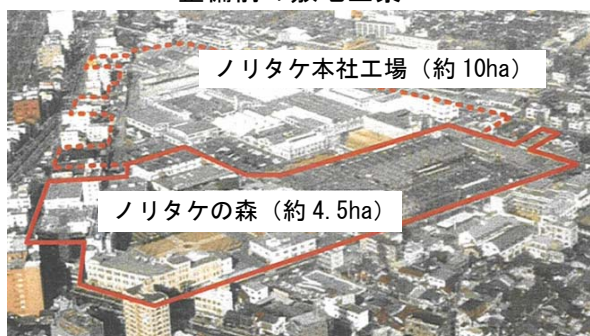
#### ② 「ノリタケの森」がきっかけとなり、周辺の景観・環境整備が行われてきた

- 名古屋市が「ノリタケの森」の外周歩道整備（インターロッキング化）
- 地区イメージの一新により、隣接地区にマンションが立地（現在も本社工場は稼働中）

#### ③ 行政による「まちの目標像」の明確化が必要

- 行政が地域レベルでまちづくりの目標像（コンセプトなど）を明確にすることにより、事業者は一つの方向に向かって景観形成を進めやすくなる。

整備前の敷地全景



整備後



○都市景観等に係わる様々な賞を受賞

<平成 14 年度>

- ・都市公園コンクール 日本公園緑地協会 会長賞 ((社) 日本公演緑地協会)
- ・名古屋市都市景観賞 (名古屋市)

<平成 15 年度>

- ・緑の都市賞 国土交通大臣賞 ((財) 都市緑化基金、読売新聞社) 等々

(株)ノリタケカンパニーリミテド

事業内容 : 研削と石、陶磁器食器、蛍光表示管、電子ペ-スト、高性能焼成炉等

本社所在地 : 愛知県名古屋市西区則武新町 3 丁目 1 番 36 号